THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2012～2013 6 月 号 (No796)

主　題（2012／2013）

国際会長	「世を照らす光となろう」
アジア会長	「歳月は Y's をワイズ（賢者）にする」
西日本区理事	「先頭に立ってワイズの光を輝かそう　クラブで、地域で、国際社会で」
中部部長	「前へ！声を掛合い！」
名古屋クラブ会長	「共に手をとり広げよう　"Y's の輪・絆 "」

6 月例会プログラム

と　き：2013 年 6 月 11 日(土)　6:30p.m.～8:30p.m.
ところ：名古屋 YMCA

	司　会　深谷　聡君
開会宣言	会　長　五島　八郎君
ワイズソング	
聖書朗読・祈祷	小谷　治郎君
食　事	
プログラム	
聖岩クラブ方式訪問報告	五島　八郎君
「EMC を考える」	
西日本区大会の各自役割分担の確認他	
諸報告	
ハッピーバースディ	
ドラバースピーチ	岩田　鑛一君
讃美歌　291	
閉会宣言	会　長　五島　八郎君

第 2 例 会

と　き:2013 年 6 月 18 日(火) 7:00p.m. ～ 8:30p.m.
ところ: 名古屋 YMCA
プログラム：7 月例会の件・日本区大会最終打合 他

会　長	五島八郎	書　記	千賀　将　深谷　聡
副会長	川口　恵　飯田和也	会　計	川口　恵　塩田　保
ブリテン	久保田　平野　伊左治		

この一年を

五　島　八　郎

2012 年 6 月 10 日、西日本区大会、長浜芸術会館で我がクラブの成瀬晃三理事が誕生しました。ホストクラブの会長として、名古屋能楽堂での西日本区大会まではと奮起し、この 1 年に臨みました。理事キャビネットとして、書記　平野実郎君、会計　渡辺慎吾君、事務局　谷川修君　川口恵さんを送り出し、クラブ全員で後押しするかたちで頑張りました。中部部会をはじめ他部会に出席することを前提に、クラブ内で応援をし、理事選出部として区大会のホストクラブを担い、中部の各クラブの応援も得て、全体で盛り上げてきました。

第 16 回西日本区大会実行委員では、委員長として若松さん、総務委員会に大西さん（共に四日市クラブ）他、各実行委員会委員長を中部のクラブより選出しました。私も委員として何度も委員会に出席しました。しかし、これからというときに不幸にも、成瀬理事が急逝されました。西日本区はじめ、中部、名古屋クラブのメンバーの悲しみは如何程だったか計り知れません。悲しみを乗り越え、全員が団結し大会を成功させようと、頑張りました。

クラブでは、会員（EMC）の増強として、4 名が新入会しました。

IBC では、韓国ソウルの聖岩クラブより 3 名が来名の予定、名古屋より会長夫婦が訪韓し、友好の絆を強く強く結んで参りました。

ワイズメンズ協会西日本区　第 16 回大会が盛大に開催されることを祈り、邁進中です。

5 月クラブ出席	
在　籍	29 名
第 1 例会	22 名
メネット	10 名
第 2 例会	10 名
メネット	0 名
ゲスト・ビジター	5 名
メーキャップ	1 名
出席率	89%
メネット会	8 名
ゲスト・ビジター	0 名

	B	F
5 月	切手	5pt
	現金	0pt
	小計	5pt
累計（7～5月）	切手	2305pt
	現金	16000pt
	累計	18305pt

5 月　個人出席

青木		川本	○	寺田	○		
伊藤	○	木本	○	中野	◎		
飯田	○	久保田	○	中村	○		
伊左治	○	五島	◎	西村	◎		
岩田	○	小谷	○	平野	M		
尾関	○	塩田	◎	深谷	○		
小尾	◎	鈴木	功	水谷			
河部	○	千賀	◎	義井	○		
加藤晃		相馬	○	渡辺	◎		
川口	◎	谷川	◎				

第 一 例 会（5/11）
メネット　飯田　伊左治　尾関　加藤　小谷
五島　西村　平野　長井
ゲスト

メネット会（5/18）
飯田　伊左治　尾関　加藤邦　五島　長井
西村　深谷

六甲部宝塚クラブ 25 周年例会（5/25）
谷川　西村　平野

西日本区財務委員会（6/3）
渡辺

○第 1　◦第 2　◎第 1・第 2　M メーキャップ

■■■ 第１例会レポート ■■■

と　き　2013 年 5 月 11 日（土）　2：00pm ～
ところ　東別院会館ホール

今月の例会は特別例会として講演会の前に午後２時より東別院会館ホールにて、河部薫君と中村隆君両名の入会式が行われました。講演会は、下村明子さん（グランパスクラブ）の司会で進められ、第一部は戸羽太氏からのお話で、陸前高田の若者が、名古屋市立大学で看護学を学び陸前高田で看護師として働くというお話がありました。さらに市長は今後も陸前高田市の復興についても話され、陸前高田市を障がい者も健常者もアクセスしやすい、ノーマライゼーションと言う言葉がいらない位の都市を作りたいと語られました。YMCA の重要な理念の一つの empowerment young people に非常に通じるものを感じました。

◀新入会の河部 薫 君

新入会の中村 隆 君▶

第二部では矢野きよ実氏による陸前高田の小学生とのお話でした。親を亡くした子どもたちの書や、これから復興を目指す子どもたちの力強い心の書を見て、自分自身が勇気づけられた気がしました。

被災地小学生の書の前で講演をする矢野きよ実氏

戸羽太市長への協力金贈呈 谷川委員長より

第三部では、戸羽氏、矢野氏、京都トゥービークラブのメンバーで参議院議員でもある佐藤正久氏の３氏によるパネルディスカッションでした。陸前高田の復興の件だけでなく福島の放射能被害の復興支援にまで話はおよび、最後はこれからの将来を担っていく子どもたちの話にまで及びました。

例会終了後は戸羽市長を迎えた食事会を名古屋キャッスルプラザにて行い、交流を深めました。

以上のように非常に充実した例会となり、協力していただいた名古屋グランパスクラブのメンバーの皆さまに感謝いたします。また実行委員長としてご尽力いただいた谷川メンと急遽、網膜剥離緊急手術で入院、欠席された委員平野メンに感謝を申し上げたいと思います。

（千賀　将）

■■■ 第２例会レポート ■■■

と　き：2013 年 4 月 16 日（火）19:00 ～ 20:30
ところ：名古屋ＹＭＣＡ

１）社会館招待　潮干狩りについて社会館スタッフとの打ち合わせ
　６月８日（土）知多市乙方海岸にて
　9：30 開始　ワイズメンは 9：00 集合　雨天中止の場合は 7：00 までに小尾さん経由で連絡する
　ＹＭＣＡの利用のＬＤの子どもたち 15 名とリーダー 10 名を招待する
２）６月第１例会について
　西日本区大会の打ち合わせ　各自の役割確認を行う
　ＥＭＣを考える（五島会長より）
　聖岩クラブ公式訪問報告（五島会長より）
３）西日本区大会参加申し込みについて
　名古屋クラブのメン、メネット、コメットの参加完了
　成瀬理事のご遺族を大会に招待予定
　聖岩クラブから３名の参加あり。大会登録済み
4）聖岩クラブ西日本区大会受け入れについて
　６月 22 日　西村清君がセントレアへお迎え
　６月 23 日　大会終了後和歌山紀の川クラブ、熱海グローリークラブとのＤＢＣ交流会に招待。西区浄心の志の島茶屋にて行う
　その後の予定は聖岩クラブの方々の意向を聞いて進める。宿泊先はアイリス愛知

（千賀　将）

今月の聖句

「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。
わたしの助けは来る。天地を造られた主のもとから。」

詩篇 121：1～2

西　村　　清

この年度の最後の月を迎えました。成瀬晃三さんを理事に推薦し、理事の役割を果敢に果たしておられた２月末、突然召されました。私たちの理解を越える出来事でした。６月に持たれる、その中心の成瀬理事のいない西日本区大会ですが、理事事務局をはじめ、大会実行委員会の方々の努力によって、その準備が進められています。中部地区の皆さんの協力によって、西日本区大会を成功裡のうちに全うしたいと願っています。

さて、今月の聖句は旧約聖書からの言葉ですが、大変親しまれている詩編です。そしてこれはバビロン捕囚期の詩編と呼ばれ、遠くバビロンから故郷パレスチナに向かって、懐かしく思い起こして歌われています。

この詩編はイスラエルがバビロンとの戦いに敗れ、民族ごとバビロンに奴隷として連れていかれます。「バビロン捕囚」と呼ばれる出来事です。もともとイスラエル人は、自分たちは神に選ばれた選民で、異邦人、異民族を支配して当然という考え方をもっていました。神様はそのように自分たちを守ってくださると考えていました。しかしイスラエル人は、今やバビロンの奴隷として遠くバビロンに連れてこられた。これは大変なショックでした。そしてバビロンからはるか遠くに見える山々を眺め、その山々は自分たちの故郷パレスチナとの間を隔てるもの、いわば牢獄の窓の鉄格子のように、その地から脱出の不可能を告げるものでした。

しかし、その絶望の象徴としての山を見、このようなとらわれの身の者たちの救いはどこから来るのだろうとうめく、そのうめきに、救いは「天地を造られた主の下から来る」と告げられます。あの山さえも神の造られたものではないか、主は天地の主であるのだから、人の目に絶望と見える今の状況も、また主のみ手の中にあって導かれる。主はイスラエルの民の出て行くことも、また帰ってくるのも必ず見守ってくださり、その道を開いて下さる、と励ましているのです。絶望的な状況のただ中で聞いた慰めの言葉でした。

『ワイズメンの賢い話』(No204)

『東日本大震災について』

最近、例会になかなか出席できなかったのですが、５月１１日（土）のワイズメンズクラブ主催の講演会に参加しました。正式な報告は、他で行われると思いますが、ここで個人的な感想を記させていただきたく、お許しください。陸前高田市長戸羽太氏のお話しの中で、一番、印象に残ったことは、大震災の津波によって、親を亡くした子どもたちのことです。人によって多少の違いはあったようですが、子どもたちが、通常の精神状態に戻るまでに、かなり時間がかかったようです。戸羽市長としては、これらの子どもたちのことを考えて、地震による津波の災害が二度と起こらないような復興を考えておられるようです。大震災から既に２年以上経過している現在でも、復興事業はかなり厳しい状況にあるようです。現地から遠く離れている私たちにとっては、改めて現地の厳しさを知ることが必要です。この講演会で、もう一つ印象に残ったことは、矢野きよ実さんの現地の子どもたちに対する支援事業です。矢野さんは、当クラブの久保田さんと同じ書道の仲間であるようですが、現地の子どもたちに書を書かせることによって、精神的な慰めを与えてこられたようです。特に印象的であったのは、子どもたちが書いた言葉です。「命」「誰も一人では生きられない」「生きている時を楽しもう」「君は一人じゃない」「強く生きる」等の非常に重要な言葉を現地の子どもたちに書かせることによって、大震災に会って悲しんでいる子どもたちに、大きな慰めを与えることができたようです。講師の方々と共に、この重要な講演会を企画、実行してくださった方に心より御礼申し上げます。

（寺田仁計）

ハッピーバースディ

メ　ン

６月 12 日　渡辺　真悟君

メネット

６月 22 日　平野　愛子さん
30 日　水谷　道子さん

BF

切手

木本精之助君　　5pt

Menettes of Nagoya Y's Men's Club

5月メネット例会報告

と　き　2013年5月18日（土）
ところ　名古屋YMCA

五月晴れの朝　4月のメネットナイトの成果と反省に始まり、大会おみやげの仕上げに取り掛かりました。歓迎の言葉を記したシールを箱に貼り、乾燥剤をそえて、ほぼ完了。メネットの心をこめた一針一針の作品の120個それぞれに、いとおしさを覚え、喜んで頂けるのが楽しみです。

午後は、次期長井会長を中心に、今後の名古屋メネットの活動について話し合いました。具体的に良き道標が与えられますよう祈ります。

尚、飯田会長は2年に亘って、西日本区メネットの聖句（テモテ第一の手紙1-12）をまさに実践されました。本当にご苦労さまでした。と、共に、心よりの感謝を捧げます。

（深谷朗子）

6月メネット会ごあんない

メネット例会

と　き：6月15日（土）　10：00～14：00
ところ：名古屋YMCA

例年ですと外で食事をとりながらの総会ですが、1週間後に西日本区大会を控えていますので今回はYMCAで行います。

①メネットアワーおみやげの発送準備など
②今年度の反省と課題

来期のメネット活動に関してご意見をお寄せください。

（飯田純子）

韓国　ソウル聖岩クラブを訪問して

五　島　八　郎

5月13日、中部国際空港から韓国仁川空港へ。

空港では、白宇鉉、梁鉱國、金明中さんの出迎えでソウルに向かい、ソウルYMCAで李漳奎、柳承虎、徐漢範、趙鐘徳、尹鎬俊、梁承吉、金映志、金恵暎、李啓江、金槿淑、申榮喜、金淑暎、韓蓮熙　各奥様方、古き良き友達に出会いました。

聖岩クラブの例会に出席（公式歓迎）し、挨拶、会議が長くなり白熱のうちに終了。夕食会（歓迎会）は、会場を変えレストランへ行きました。

その夜はＹＭＣＡ ホテル泊。

5月14日15日　公州・扶余を訪問。ここは百済の都があったところですが、古墳や寺院址が大変多く、扶余は百済が滅んだ悲劇の都として有名です。風景は、日本の30年ほど前の大和飛鳥地方と雰囲気が似ていると思いました。

2日目は、場所が不明のオンドル付きの宿舎泊。暑かった !!!、、のですが、ここはお奨めです。交通の便が悪く、バスしかありません。そのため観光客が少なく「鄙びた観光地」とでも言いましょうか、訪韓のときはお勧めです。是非一度お出かけし散策してください。

韓蓮熙さんスポンサーの歓送会。「6月22日名古屋で西日本区大会でまたお会いしましょう。お待ちしていますと」と締められました。

聖岩クラブの皆さんが自家用車でご出席のため、酒は無しでした。ＹＭＣＡ ホテル泊。

5月16日、韓国仁川空港出発で帰国の機内へ。空港では、名古屋での再会を確認するかのように、お互いが見え無くなるまで手を振り続けました。